



2023年1月27日

各 位

会社名 S G ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 栗和田 榮一
(コード番号: 9143 東証プライム)
問合せ先 取締役 経営企画担当 川中子 勝浩
(TEL 075-693-8850)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年11月24日に公表いたしました2023年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

2023年3月期連結業績予想数値の修正

(1) 修正の内容

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,600,000	142,000	143,000	130,000	204.64
今回修正予想(B)	1,450,000	134,000	137,000	126,000	199.15
増減額(B-A)	△150,000	△8,000	△6,000	△4,000	
増減率(%)	△9.4	△5.6	△4.2	△3.1	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	1,588,375	155,713	160,289	106,733	168.02

(2) 修正の理由

当第3四半期累計期間の連結業績及び足元の状況を踏まえ、従来予想に対し営業収益は1,500億円減少の1兆4,500億円、営業利益は80億円減少の1,340億円、経常利益は60億円減少の1,370億円、親会社株主に帰属する当期純利益は40億円減少の1,260億円といたしました。

主な修正の理由は、当第3四半期連結会計期間のロジスティクス事業及びデリバリー事業の業績が前回発表予想を下回ったこと、またこれを踏まえて通期の予想を見直したことによるものです。

ロジスティクス事業の国際輸送では、当第3四半期連結会計期間において物価上昇や金融引き締めなどを背景とした景気後退懸念等の影響や、主力のアメリカ向け輸送における荷主の在庫調整に伴う荷動

き停滞の継続により、海上・航空貨物の取扱量が大幅に減少いたしました。加えて、サプライチェーンの混乱が収束に向かう中で、海上運賃が急速に下落したことの影響も受けております。第4四半期連結会計期間においても、引き続き荷動きの停滞が見込まれること、また海上・航空運賃も横ばいからやや下落傾向での推移を見込んでおります。これら国際輸送を含むロジスティクス事業の状況を元に、通期の営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を修正いたしました。

デリバリー事業では、宅配便の取扱個数について、当第3四半期連結会計期間の前半は経済社会活動の制限緩和やEC市場規模の拡大等を背景に堅調に推移いたしましたが、後半にかけては荷動きが鈍化いたしました。また、平均単価については、適正運賃收受の取組みを継続しているものの、大型荷物の取扱いが減少した影響で低下いたしました。これらデリバリー事業の状況を元に、通期の営業収益の予想を修正いたしました。なお、デリバリー事業の利益面は、取扱量に応じた適切な人員配置と生産性向上の取組みの継続により、概ね公表済みの予想通りの進捗を見込んでおり、修正いたしません。

※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績はこれらの数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上